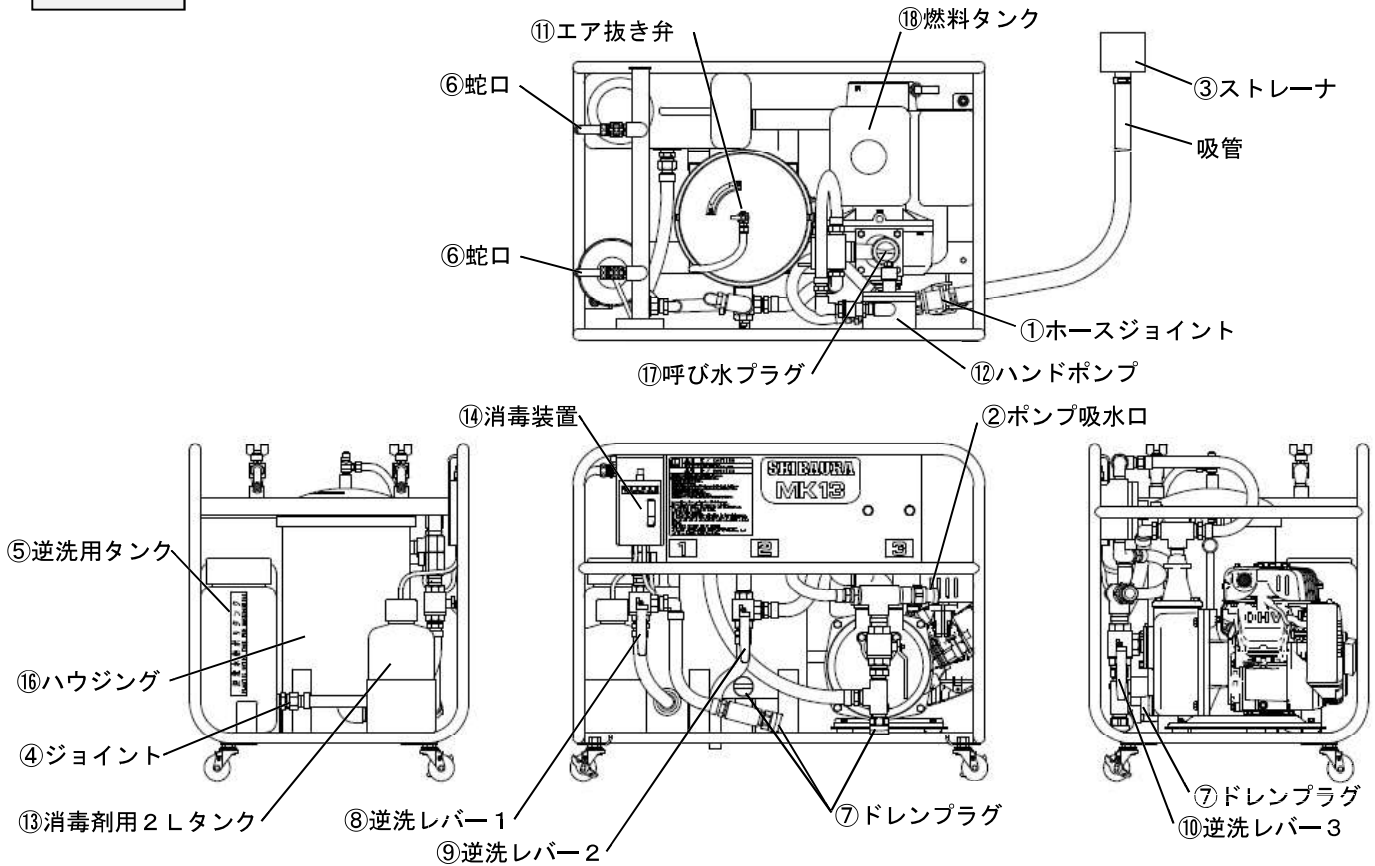


非常用浄水装置 MK13EB 操作方法

* 詳しくは取扱説明書をご覧ください

全体図



○お使いになる前に

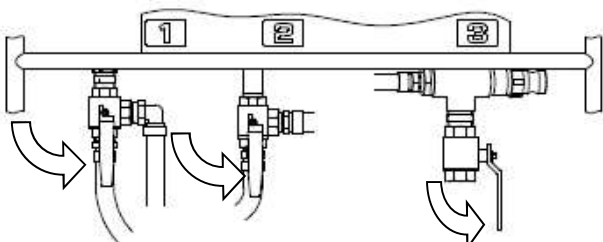
1. 吸管の取付

- (1) 吸管の①ホースジョイントを②ポンプ吸水口に取付ける。
- (2) 吸管先端の③ストレーナを原水に沈める。



2. 本体の準備

- (1) 締め付け確認
 - ④ジョイントを⑤逆洗用タンクに取付ける。
 - ⑥蛇口(2ヶ所)を開きホースを取付ける⑦ドレンプラグ(赤色、黒色)を締め付ける。
- (2) 逆洗レバー方向確認
 - ⑧⑨⑩逆洗レバー1、2、3をタテに向ける。



(3) 本体の消毒

- ⑪エア抜き弁を開き、ホースの先端から計量カップで消毒剤5mLを⑯ハウジング内に入れる。



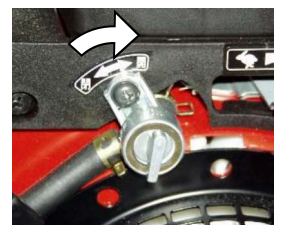
(4) 呼び水

エンジンポンプ上部の⑮呼び水プラグを外し、呼び水をほぼいっぱい(約2.5L)に入れ、プラグを締める。呼び水のない場合は⑫ハンドポンプにレバーを取付け、エンジンポンプに呼び水をおこなう。

○運転

1. エンジンポンプ始動

- (1) 燃料の確認
 - ⑯燃料タンクに燃料が入っているか確認する。
- (2) 燃料コック開
 - 燃料コックレバーを“開”の位置にあわせる。



- (3) エンジンスイッチON
エンジンスイッチをONにする。



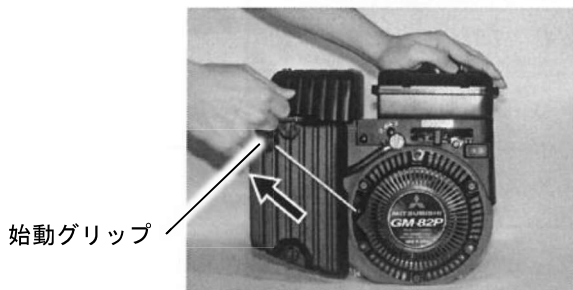
- (4) エンジン回転調整
スロットルレバーを始動(←と→の中間)位置に合わせる。



- (5) チョーク
寒い時やエンジンのかかりにくい時は、チョークを閉にする。



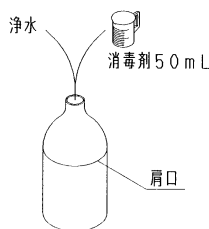
- (6) 始動
始動グリップを勢よく引く。



- (7) 暖気運転
約5分間、暖気運転を行う。
チョークレバーを操作したときは、エンジン回転数が安定するのを確認しながら徐々に開の位置に戻す。

2. エア抜き
①エア抜き弁から水が出てきたら、①エア抜き弁を閉める。

3. 消毒剤の調整
(1) 消毒剤の希釈
計量カップで消毒剤50mLを
⑬消毒剤用2L タンクに入れた後、
浄水をタンクの肩口まで入れる。
(2) 消毒装置の調整
(3) ⑥蛇口のcockを回して必要な流量
を出しながら、浄水の塩素濃度測定
器で塩素濃度を測り、0.1～1.0
ppm になるように⑭消毒装置の調整
つまみを回す。



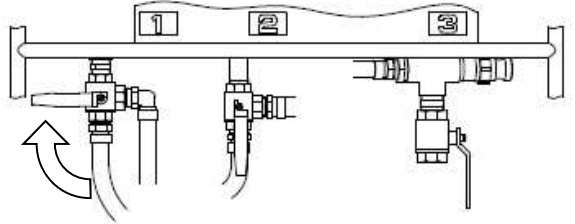
○停止

1. エンジンの停止
(1) スロットルレバーを停止(←)位置に合わせる。
(2) エンジンストップスイッチをOFFにする。

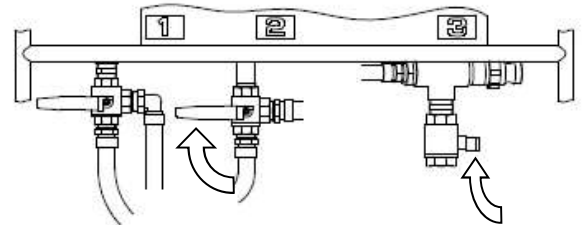
○逆洗

運転を続けるとフィルタにゴミがたまり、浄水の流量が低下します。
この場合、下記の逆洗でフィルタを再生してください。

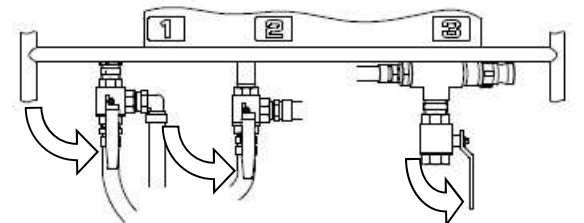
- 1.ハウジングのエア抜き
①エア抜き弁を開きエアを抜く。
エアが抜けたら弁を閉める。
2. 逆洗用浄水の準備
⑤逆洗レバー1をヨコに向け、⑤逆洗用タンクに浄水を入れる。



3. 浄水の逆流
⑤逆洗用タンクがいっぱいになる前に⑨⑩逆洗レバーを2、3の順にヨコに向ける。

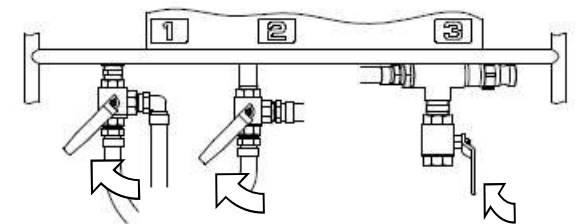


4. 逆洗の終了
⑤逆洗用タンクの水がなくなったら⑧⑨⑩逆洗レバーを3、2、1の順でタテに向けた後、ハウジングのエア抜きをする。



○使用後の水抜き

1. 吸管の取り外し
吸管の①ホースジョイントを取り外す。
2. バルブの開閉
①エア抜き弁を開く。
⑦ドレンプラグ(赤色、黒色)を外す。
⑧⑨⑩逆洗レバー1、2、3を斜め下に向ける。



3. 配管の水抜き
ハンドポンプを動かして配管の水を抜く。

* 詳しくは取扱説明書をご覧ください。